炉、温風暖房機、ヒートポンプ冷暖房機、ボイラー、乾燥設備、給湯湯沸設備概要表

		項目	良	否
設	置種別	□炉(1 ㎡以上) [□炉(炭おこし用炉)、□工業用、□その他] □ボイラー [□温水 [□暖房用、□給湯用、□工業用、□その他] [条例5 7 条] □素気 [□暖房用、□工業用、□その他] □ 薫 当 □貫流 □壁付暖炉 □温風暖房機 □ヒートポンプ冷暖房機 □乾燥設備 [□危険物乾燥、□その他] □給湯湯沸設備		
	事 種 別	□新 設、□増 設、□全部改設、□一部改設、□移 設、□改 修□増 改 設、□ そ の 他		
設	置場所			
	区 画 構造等	不燃区画 [□区画有り、□区画無し、□その他] 開口部 [□防火戸、□特定防火設備である防火戸] 室面積㎡		
	内 装	下地 [□特定不燃、□その他 ()]、仕上げ [□特定不燃、□その他 ()]		
設	置概要	機 器 型 式 () 大きさ(奥行m×幅m(据付け面積m ² ×高さm)		
熱	源 種 別	□液 体 [□灯 油、□重 油、□その他の液体] □気 体 [□都市ガス、□LPガス、□その他の気体] □固 体 [□ま き、□石 炭、□その他の固体] □電 気 □その他 (蒸気含む)		
入	力	kW		
安	全装置	対震装置 [□無、 □有] 型式番号 ()、設置位置 [□本体、□室内]、製作社名 () □立ち消え安全装置、 □空だき防止装置、 □自動温度調節装置、 □自動ガス遮断装置 □その他 ()		
燃	料配管	材質 [□鋼管、□銅管、□その他] 、配管方法 [□露出、□埋設、□隠ぺい]		
燃タ	料 ン ク	容量 (L)、材質 [□鋼板、□その他 ()]、板厚m 固定方法 [□ボルト固定、□溶接、□その他]、炉からの水平距離m		
煙排	突 気 筒 等	排気温度 [□260℃超、□100℃超 260℃以下、□100℃以下]、 逆風防止装置 [□無、 □有]、排気トップ形状 [□多翼型、 □H型]、 貫通部構造 [遮熱材料、 [□無、 □有]、□その他 ()]		
	焼空気	給気口面積 (cm) 、給気口位置 (床面からcm) 、 給気ファン (給気量m²/h) 、給気ファン位置 (床面からcm)		
耐	震 措 置	設計用標準震度 [耐震クラス \square S・ \square A・ \square B] アンカーボルト $__$ $_{\phi} \times ___$ 本		
消	火 設 備	□消火器、□大型消火器、□スプリンクラー設備、□水噴霧消火設備、□ 泡 消 火 設 備 、□ ハ ロ ン 、□ 粉 末 消 火 設 備 、□ I G - 55 消火設備、□ I G - 541 消火設備、□窒素消火設備□HFC-227ea 消火設備、□HFC-23 消火設備、□その他()		
警	報設備	□自動火災報知設備、□非常ベル、□放送設備、□ガス漏れ警報設備、 □その他()		
そ	の他			

備考1 項目中、□欄は該当するものに✔印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。

2 良否欄は、記入しないこと。